



2014年度（平成27年3月期）
第1四半期決算

参考資料

2014年8月1日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<http://www.eisai.co.jp/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、ジェネリック医薬品に関するリスク、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

目次

1. 連結損益計算書	1
2. 資本的支出及び減価償却費の状況	2
3. 報告セグメント別情報	2
4. 事業セグメント	3
5. 主力品売上収益	7
6. セグメント別売上収益予想	9
7. 連結包括利益計算書	10
8. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
9. 連結財政状態計算書	12
10. 主力品売上収益の四半期推移	14
11. 主要開発品	16

為替レート

		米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)	中国 (円/人民元)
2013年度 第1四半期	期中平均レート	98.75	128.94	151.59	16.05
	期末日レート	98.59	128.53	150.30	16.05
2013年度 通期	期中平均レート	100.23	134.36	159.44	16.41
	期末日レート	102.92	141.65	171.31	16.59
2014年度 第1四半期	期中平均レート	102.16	140.06	171.91	16.40
	期末日レート	101.36	138.31	172.63	16.32
2014年度	予想前提レート	103.00	140.00	170.00	17.00

- 当社は2013年度の連結財務諸表からIFRSを任意適用し、当第1四半期の連結財務諸表よりIFRSにて開示しています。
- 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本（医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬）、アメリカス（北米、中南米）、アジア（中国、韓国、台湾、インド、アセアン等）、EMEA（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）、薬粧-日本（一般用医薬品等）を報告セグメントとしております。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しております。

1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2013年度				2014年度				2014年度	
	1Q	売上比	通期	売上比	1Q	売上比	前同比	増減額	通期予想	売上比
売上収益	1,528	100.0	5,995	100.0	1,328	100.0	86.9	△ 200	5,660	100.0
売上原価	462	30.2	1,947	32.5	481	36.2	104.1	19	2,000	35.3
売上総利益	1,066	69.8	4,048	67.5	847	63.8	79.4	△ 219	3,660	64.7
販売費及び一般管理費	506	33.1	2,033	33.9	472	35.5	93.2	△ 34	1,915	33.8
販売費	218	14.3	789	13.2	168	12.7	77.3	△ 50	—	—
人件費	184	12.0	742	12.4	193	14.5	105.0	9	—	—
管理費他	104	6.8	502	8.4	110	8.3	105.5	6	—	—
研究開発費	373	24.4	1,363	22.7	291	21.9	78.1	△ 82	1,215	21.5
その他の収益	3	0.2	41	0.7	2	0.1	58.1	△ 1	—	—
その他の費用	4	0.3	28	0.5	1	0.1	28.1	△ 3	—	—
営業利益	186	12.1	664	11.1	85	6.4	45.6	△ 101	530	9.4
金融収益	7	0.5	18	0.3	6	0.4	82.3	△ 1	—	—
金融費用	16	1.1	59	1.0	13	1.0	81.4	△ 3	—	—
税引前四半期(当期)利益	177	11.6	623	10.4	77	5.8	43.8	△ 99	—	—
法人所得税	53	3.5	238	4.0	20	1.5	37.6	△ 33	—	—
四半期(当期)利益	123	8.1	385	6.4	57	4.3	46.4	△ 66	350	6.2
四半期(当期)利益の帰属										
親会社所有者	123	8.0	383	6.4	57	4.3	46.3	△ 66	—	—
非支配持分	1	0.1	3	0.0	1	0.0	57.9	△ 0	—	—

四半期(当期)包括利益	298	19.5	845	14.1	7	0.5	2.3	△ 291
-------------	-----	------	-----	------	---	-----	-----	-------

EPS (円)	43.0	134.1	19.9	122.4
DPS (円)	—	150.0	—	150.0
ROE (%)	—	7.6	—	6.7
DOE (%)	—	8.5	—	8.2
海外売上収益比率 (%)	41.8	40.8	39.1	

・通期予想の販売費及び一般管理費にはその他の収益・費用が含まれています。

・EPS：基本的1株当たり四半期(当期)利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

<コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> グローバルブランド（ハラヴェン、Fycompa、Belviq）の成長 日本の薬価改定、米国における独占販売期間満了によるパリエット/アシフェックス、アリセプトの減少
■売上原価率	<ul style="list-style-type: none"> 品目ミックスの変化による上昇
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> 共同販促パートナーへの提携費用減少 グローバルブランド、アジア・新規進出国への積極投資
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> 前年同期にマイルストーン支払い発生 共同開発に関するオプション権行使による一時金受領 主要開発テーマ加速に向けた積極的な資源投入
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益：21億円、営業利益：△6億円
■為替感応度	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益：米ドル 10.4億円、ユーロ 2.0億円、英ポンド 0.3億円 営業利益：米ドル △5.8億円、ユーロ 1.2億円、英ポンド △1.1億円（1円の円安に対する影響額）

2. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2013年度		2014年度		
	1Q	通期	1Q	増減額	通期予想
資本的支出額	106	312	38	△ 68	275
有形固定資産	15	123	19	4	120
無形資産	91	189	19	△ 72	155
減価償却費及び償却費	103	399	93	△ 10	376

3. 報告セグメント別情報

1) 報告セグメント別売上収益

(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
日本 医薬品事業	811	3,110	737	90.9	90.9
アメリカス 医薬品事業	413	1,589	254	61.5	59.5
米国	411	1,583	252	61.3	59.2
アジア 医薬品事業	134	580	163	121.8	118.5
中国	70	318	92	130.2	127.5
EMEA 医薬品事業	77	320	88	115.3	105.9
薬粧-日本（一般用医薬品等）	42	193	38	90.1	90.1
その他	53	202	48	91.7	90.4
連結売上収益	1,528	5,995	1,328	86.9	85.6

・外部顧客に対する売上収益を示しております。

2) 報告セグメント別利益

(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
日本 医薬品事業	429	—	337	78.5	78.5
アメリカス 医薬品事業	87	—	1	1.0	1.0
アジア 医薬品事業	30	—	43	141.8	138.4
EMEA 医薬品事業	7	—	11	144.4	124.6
薬粧-日本（一般用医薬品等）	5	—	△ 2	—	—
その他	26	—	13	50.0	48.0
研究開発費	373	—	291	78.1	75.8
親会社の本社管理費等	27	—	27	101.8	101.8
連結営業利益	186	—	85	45.6	48.6

4. 事業セグメント

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	811	3,110	737	90.9
医療用医薬品	739	2,816	660	89.3
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	58	234	64	109.9
診断薬（エーディア）	14	60	14	98.2
セグメント利益	429	—	337	78.5
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	183	650	134	73.3
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	128	473	108	84.2
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	69	288	78	112.1
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	67	252	63	94.3
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	41	194	43	103.7
経口抗凝固剤 ワーファリン	26	97	24	94.8
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	22	77	19	85.9
抗がん剤 ハラヴェン	16	64	16	95.7
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	18	67	14	76.2
不眠症治療薬 ルネスタ	6	29	10	176.3

- ・バリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含めております。
- ・リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米、中南米)

(%)

		2013年度		2014年度	
		1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	億円	413	1,589	254	61.5 <59.5>
米国	億円	411	1,583	252	61.3 <59.2>
セグメント利益	億円	87	—	1	1.0 <1.0>
アメリカス 主力品売上収益					
制吐剤 Aloxi	億円	103	429	126	121.6 <117.5>
米国	億円 (百万米ドル)	103 (105)	429 (428)	126 (123)	121.6 <117.5>
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	億円 (百万米ドル)	155 (157)	377 (376)	39 (38)	24.9 <24.1>
抗がん剤 ハラヴェン	億円	33	134	38	116.9 <113.1>
米国	億円 (百万米ドル)	32 (32)	131 (130)	37 (36)	115.7 <111.8>
抗てんかん剤 Banzel	億円	15	76	22	145.5 <140.8>
米国	億円 (百万米ドル)	15 (15)	75 (75)	22 (22)	146.4 <141.5>
肥満症治療剤 Belviq	億円 (百万米ドル)	4 (4)	25 (25)	10 (10)	249.5 <241.2>
抗てんかん剤 Fycompa	億円	0	8	2	1547.5 <1511.2>
米国	億円 (百万米ドル)	— (—)	7 (7)	1 (1)	— <—>

- ・アシフェックス、Belviqの自社販売国は米国のみです。
- ・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

3) アジア 医薬品事業 (中国、韓国、台湾、インド、アセアン等)

(%)

		2013年度		2014年度	
		1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	億円	134	580	163	121.8 <118.5>
中国	億円	70	318	92	130.2 <127.5>
セグメント利益	億円	30	—	43	141.8 <138.4>
アジア 主力品売上収益					
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	億円	36	161	46	129.1 <127.4>
中国	億円 (百万人民元)	30 (188)	138 (844)	40 (245)	133.7 <130.9>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	29	120	32	109.6 <104.0>
中国	億円 (百万人民元)	10 (62)	38 (234)	11 (67)	110.4 <108.1>
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	億円	16	68	20	122.3 <113.5>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	億円	14	57	15	108.2 <107.2>
中国	億円 (百万人民元)	5 (34)	22 (135)	7 (43)	130.0 <127.2>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	億円	12	55	13	110.6 <108.2>
中国	億円 (百万人民元)	12 (74)	54 (331)	13 (80)	110.9 <108.5>
抗がん剤 ハラヴェン	億円	1	5	2	347.5 <343.8>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

4) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、オセアニア)

(%)

		2013年度		2014年度	
		1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	億円	77	320	88	115.3 <105.9>
セグメント利益	億円	7	—	11	144.4 <124.6>
EMEA 主力品売上収益					
抗がん剤 ハラヴェン	億円	20	85	26	129.5 <118.8>
抗てんかん剤 ゾネグラン	億円	15	66	19	126.9 <116.2>
抗てんかん剤 Zebinix	億円	5	24	7	127.5 <117.0>
抗てんかん剤 Fycompa	億円	6	13	5	95.6 <86.8>
抗てんかん剤 イノベロン	億円	5	19	5	116.9 <107.2>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

5) 薬粧-日本 (一般用医薬品等)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	42	193	38	90.1
セグメント利益 (損失)	5	—	△ 2	—
薬粧-日本 主力ブランド売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	29	120	25	87.5

5. 主力品売上収益

1) がん関連領域製品

(%)

		2013年度		2014年度	
		1Q	通期	1Q	前同比
がん関連領域製品計	億円	271	1,007	242	89.4 <86.2>
ハラヴェン（抗がん剤）	億円	69	288	82	117.6 <112.8>
日本	億円	16	64	16	95.7
アメリカス	億円	33	134	38	116.9 <113.1>
アジア	億円	1	5	2	347.5 <343.8>
EMEA	億円	20	85	26	129.5 <118.8>
Aloxi（制吐剤）	億円	103	429	126	121.6 <117.5>
トリアキシン/シンペンダ（抗がん剤）	億円	10	39	10	100.1 <99.6>
その他	億円	88	251	25	28.2 <27.2>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

2) てんかん領域製品

(%)

		2013年度		2014年度	
		1Q	通期	1Q	前同比
てんかん関連領域製品計	億円	55	241	71	129.5 <121.9>
Fycompa	億円	6	21	7	120.8 <111.5>
アメリカス	億円	0	8	2	1547.5 <1511.2>
EMEA	億円	6	13	5	95.6 <86.8>
ソネグラン	億円	21	91	26	121.5 <112.8>
EMEA	億円	15	66	19	126.9 <116.2>
イノベロン/Banzel	億円	20	97	29	141.8 <135.9>
アメリカス	億円	15	76	22	145.5 <140.8>
EMEA	億円	5	19	5	116.9 <107.2>
Zebinix	億円	5	24	7	127.5 <117.0>
その他	億円	2	9	3	121.7 <121.7>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

3) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

(%)

		2013年度		2014年度	
		1Q	通期	1Q	前同比
パリエット/アシフェックス計	億円	299	914	163	54.6 <54.1>
日本	億円	128	473	108	84.2
アメリカス	億円	155	377	39	24.9 <24.1>
アジア	億円	14	57	15	108.2 <107.2>

- 日本のパリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めております。
- 前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

4) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

(%)

		2013年度		2014年度	
		1Q	通期	1Q	前同比
アリセプト計	億円	232	827	164	70.5 <69.8>
日本	億円	183	651	134	73.3
アジア	億円	29	120	32	109.6 <104.0>

- 前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

6. セグメント別売上収益予想（2014年度）

	2013年度		2014年度	
	1Q	通期	1Q	通期予想
(億円)				
日本	811	3,110	737	3,075
医療用医薬品	739	2,816	660	2,740
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	183	650	134	595
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	128	473	108	420
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	69	288	78	305
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	67	252	63	230
経口抗凝固剤 ワーファリン	26	97	24	90
抗がん剤 ハラヴェン	16	64	16	90
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	22	77	19	70
不眠症治療薬 ルネスタ	6	29	10	65
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	18	67	14	60
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	58	234	64	275
診断薬（エーディア）	14	60	14	60
アメリカス	413	1,589	254	1,115
米国	411	1,583	252	1,100
アジア	134	580	163	675
中国	70	318	92	380
EMEA	77	320	88	400
薬粧-日本（一般用医薬品等）	42	193	38	210
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	29	120	25	125
その他	53	202	48	185
連結売上収益	1,528	5,995	1,328	5,660
主要品目グローバル売上収益				
バリエット/アシフェックス	299	914	163	530
アリセプト	232	827	164	755
ハラヴェン	69	288	82	390
日本	16	64	16	90
アメリカス	33	134	38	155
アジア	1	5	2	10
EMEA	20	85	26	135
Fycompa	6	21	7	95
アメリカス	0	8	2	70
EMEA	6	13	5	25

7. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	増減額
四半期（当期）利益	123	385	57	46.4	△ 66
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	0	38	1	139.1	0
確定給付制度に係る再測定	—	25	—	—	—
小計	0	64	1	139.1	0
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	170	388	△ 53	—	△ 224
キャッシュ・フロー・ヘッジ	4	8	2	63.1	△ 1
小計	174	396	△ 51	—	△ 225
その他の包括利益合計	174	460	△ 50	—	△ 225
四半期（当期）包括利益	298	845	7	2.3	△ 291
四半期（当期）包括利益の帰属					
親会社所有者	297	843	6	2.2	△ 291
非支配持分	1	2	1	89.9	△ 0

8. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2013年度	2014年度	
	1Q	1Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	177	77	△ 99
減価償却費及び償却費	103	93	△ 10
運転資本の増減額（△は増加）	△ 31	△ 47	△ 16
利息及び配当金の受取額	9	6	△ 3
利息の支払額	△ 15	△ 7	8
法人所得税の支払額	△ 67	△ 34	33
その他	△ 30	△ 9	21
営業活動によるキャッシュ・フロー	146	79	△ 66
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出 ①	△ 30	△ 20	10
有形固定資産の売却による収入 ②	3	0	△ 3
無形資産の取得による支出 ③	△ 91	△ 12	79
<資本的支出等（キャッシュベース）> ①+②+③	△ 118	△ 32	86
金融資産の取得による支出	△ 7	△ 19	△ 12
金融資産の売却・償還による収入	28	17	△ 11
3ヶ月超預金の預入による支出	△ 18	△ 19	△ 1
3ヶ月超預金の払戻による収入	382	10	△ 372
その他	0	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	268	△ 41	△ 309
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	105	45	△ 60
長期借入金の返済による支出	△ 198	△ 102	95
社債の償還による支出	△ 500	-	500
配当金の支払額	△ 228	△ 228	△ 0
その他	△ 2	△ 2	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 822	△ 287	535
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	△ 19	△ 86
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 342	△ 268	74
現金及び現金同等物の期首残高	1,425	1,539	115
現金及び現金同等物の期末残高	1,083	1,271	189
フリー・キャッシュ・フロー	28	47	20

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

<コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - ・税引前四半期利益の減少等
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - ・前年同期は社債返済原資として3ヶ月超預金の払戻による収入発生
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - ・米国での長期借入金の返済。前年同期は社債償還による支出発生

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2013年度		6月末	2014年度		増減額
	3月末	構成比		構成比	前期末比	
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,341	13.8	1,318	14.0	98.3	△ 23
のれん	1,574	16.2	1,550	16.5	98.5	△ 24
無形資産	1,084	11.1	1,036	11.0	95.6	△ 48
その他の金融資産	408	4.2	407	4.3	99.8	△ 1
その他	42	0.4	30	0.3	71.4	△ 12
繰延税金資産	692	7.1	701	7.5	101.3	9
非流動資産合計	5,140	52.8	5,042	53.7	98.1	△ 99
流動資産						
棚卸資産	877	9.0	858	9.1	97.8	△ 19
営業債権及びその他の債権	1,865	19.2	1,874	20.0	100.4	8
その他の金融資産	202	2.1	219	2.3	108.6	17
その他	114	1.2	121	1.3	106.3	7
現金及び現金同等物	1,539	15.8	1,271	13.5	82.6	△ 268
流動資産合計	4,598	47.2	4,344	46.3	94.5	△ 254
資産合計	9,738	100.0	9,386	100.0	96.4	△ 352

<コメント>

- 資産合計
 - ・長期借入金の返済および期末配当金の支払いによる現金及び現金同等物の減少

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2013年度		2014年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.6	450	4.8	100.0	—
資本剰余金	579	6.0	579	6.2	100.0	△ 0
自己株式	△ 385	△ 4.0	△ 383	△ 4.1	99.7	1
利益剰余金	3,792	38.9	3,621	38.6	95.5	△ 171
その他の資本の構成要素	827	8.5	776	8.3	93.8	△ 51
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,263	54.0	5,043	53.7	95.8	△ 220
非支配持分	31	0.3	31	0.3	101.2	0
資本合計	5,294	54.4	5,074	54.1	95.8	△ 220
負債						
非流動負債						
社債及び借入金	1,957	20.1	1,552	16.5	79.3	△ 406
その他の金融負債	26	0.3	31	0.3	117.9	5
退職後給付に係る負債	155	1.6	153	1.6	99.0	△ 2
引当金	11	0.1	12	0.1	104.5	1
その他	277	2.8	256	2.7	92.2	△ 22
繰延税金負債	3	0.0	3	0.0	97.9	△ 0
非流動負債合計	2,431	25.0	2,007	21.4	82.6	△ 424
流動負債						
社債及び借入金	515	5.3	858	9.1	166.7	343
営業債務及びその他の債務	622	6.4	568	6.1	91.3	△ 54
その他の金融負債	51	0.5	46	0.5	89.5	△ 5
未払法人所得税	39	0.4	32	0.3	82.8	△ 7
引当金	130	1.3	117	1.2	89.6	△ 14
その他	655	6.7	684	7.3	104.3	28
流動負債合計	2,013	20.7	2,305	24.6	114.5	292
負債合計	4,444	45.6	4,312	45.9	97.0	△ 132
資本及び負債合計	9,738	100.0	9,386	100.0	96.4	△ 352

<コメント>

■短期借入金(繰上返済を含む)

- 資本の部
 - ・期末配当金の支払いによる利益剰余金の減少
- 負債の部
 - ・長期借入金の返済による借入金の減少

10. 主力品売上収益の四半期推移

1) がん関連領域製品

		2013年度				2014年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
がん関連領域製品計	億円	271	266	236	234	242
ハラヴェン（抗がん剤）	億円	69	69	75	75	82
日本	億円	16	16	17	15	16
アメリカス	億円	33	32	34	34	38
アジア	億円	1	1	2	2	2
EMEA	億円	20	19	22	24	26
Aloxi（制吐剤）	億円	103	111	108	107	126
トレアキシン／シンベンダ（抗がん剤）	億円	10	10	10	9	10
その他	億円	88	76	43	43	25

2) てんかん領域製品

		2013年度				2014年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
てんかん関連領域製品計	億円	55	52	66	68	71
Fycompa	億円	6	1	3	11	7
アメリカス	億円	0	0	0	7	2
EMEA	億円	6	1	3	3	5
ゾネグラン	億円	21	22	25	23	26
EMEA	億円	15	16	17	17	19
イノベロン／Banzel	億円	20	21	30	26	29
アメリカス	億円	15	17	24	20	22
EMEA	億円	5	4	5	5	5
Zebinix	億円	5	6	6	7	7
その他	億円	2	2	3	2	3

3) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

		2013年度				2014年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
パリエット/アシフェックス計	億円	299	289	162	165	163
日本	億円	128	124	118	104	108
アメリカス	億円	155	151	28	43	39
アジア	億円	14	13	14	15	15
EMEA	億円	2	1	2	2	1

・日本のパリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含めております。

4) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

		2013年度				2014年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
アリセプト計	億円	232	221	210	164	164
日本	億円	183	173	167	128	134
アジア	億円	29	30	29	31	32

11. 主要開発品

<自社開発品一覧>

品目	効能追加*	開発ステージ**	領域
承認取得品			
◎ ハラヴェン（乳がんセカンドライン）	効能	（欧）承認	がん・支持療法
申請中・申請準備中開発品			
cinitapride（機能的ディスペプシア）		（中）申請	消化器・肝臓
アリセプト（レビー小体型認知症）	効能	（日）申請	神経
バリエット（低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制および5mg錠）	効能、剤形	（日）申請	消化器・肝臓
タンボコール（小児用細粒製剤）	剤形	（日）申請	血管・免疫反応
◎ E7080（甲状腺がん）		（日）申請、（米欧ア）申請準備中	がん・支持療法
臨床試験中開発品（フェーズⅡ以上）			
Fycopma（部分てんかん）		（日中ア）PⅢ	神経
E5501（特発性血小板減少性紫斑病（ITP））		（米欧ア）PⅢ	血管・免疫反応
E5501（手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症）		（日米欧ア）PⅢ	血管・免疫反応
ハラヴェン（乳がんサードライン）		（中）PⅢ	がん・支持療法
E7080（肝細胞がん）		（日米欧中ア）PⅢ	がん・支持療法
MORAb-003（プラチナ感受性卵巣がん）		（日米欧ア）PⅢ	がん・支持療法
Fycopma（全般てんかん）	効能	（日米欧ア）PⅢ	神経
ハラヴェン（非小細胞肺癌がん）	効能	（日米欧ア）PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン（肉腫）	効能	（米欧ア）PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン（HER2 陰性乳がんファースト/セカンドライン）	効能	（米）PⅢ	がん・支持療法
ディーシー ビーズ（多血性腫瘍に対する血管塞栓療法）	効能	（日）PⅢ	がん・支持療法
アリセプト（高度アルツハイマー型認知症）	効能	（中）PⅢ	神経
イノベロン/BANZEL（レノックス・ガストー症候群の小児適応）	効能	（米欧）PⅢ	神経
バリエット（PPI 抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法）	効能	（日）PⅢ	消化器・肝臓
アリセプト（高用量製剤<23mg錠>）	用法、剤形	（日）PⅢ	神経
E0302（筋萎縮性側索硬化症（ALS））		（日）PⅡ/Ⅲ	神経
BAN2401（アルツハイマー型認知症）		（米欧）PⅡ	神経
E2006（不眠症）		（米）PⅡ	神経
E5501（C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症）		（米）PⅡ	血管・免疫反応
E6005（アトピー性皮膚炎）		（日）PⅡ	血管・免疫反応
E7016（メラノーマ）		（米）PⅡ	がん・支持療法
E7080（子宮内膜がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（グリオーマ）		（米）PⅡ	がん・支持療法
E7080（非小細胞肺癌がん、サードライン・単剤）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（非小細胞肺癌がん、RET 転座）		（日米欧ア）PⅡ	がん・支持療法
E7820（大腸がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-003（非小細胞肺癌がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004（大腸がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004（肉腫）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-009（中皮腫）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
Fycopma（部分てんかん小児適応）	効能	（米欧）PⅡ	神経
アリセプト（ダウン症候群の退行様症状）	効能	（日）PⅡ	神経
ハラヴェン（肉腫）	効能	（日）PⅡ	がん・支持療法
ONTAK（メラノーマ）	効能	（米）PⅡ	がん・支持療法
バリエット（機能的ディスペプシア）	効能	（日）PⅡ	消化器・肝臓

* 効能：効能効果追加、用法：用法用量追加、剤形：剤形追加

** 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

・糖尿病合併症治療剤「AS-3201」について、米国、欧州で実施していたフェーズⅡ/Ⅲ試験を終了し、今後の開発方針を検討していましたが、開発を中止することを決定いたしました。

◎：2014年4月以降の進捗

(1) がん・支持療法

開発品コード：E7389 一般名：エリブリン 商品名：ハラヴェン

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤			自社品
〔概要〕 クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんの効果を目指しています。米国・シンガポール・欧州・日本・スイスなど、54カ国で乳がんに係る承認を取得しています。また、2014年6月に欧州における乳がんセカンドラインについて承認を取得いたしました。			
◎ 乳がんセカンドライン（効能追加）	欧州 承認（2014年6月）		注射剤
乳がんサードライン	中国 PⅢ	2015年度申請予定	注射剤
HER2陰性乳がんファースト／セカンドライン（効能追加）	米国 PⅢ		注射剤
非小細胞肺がん（効能追加）	日米欧ア PⅢ	2014年度申請予定	注射剤
肉腫（効能追加）	米欧ア PⅢ 日本 PⅡ	2015年度申請予定	注射剤
膀胱がん（効能追加）	米欧 PⅠ/PⅡ		注射剤
リボソーム製剤（剤形追加）	欧州 PⅠ		注射剤

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ

薬効／作用機序：抗がん剤／新規結合型選択的チロシンキナーゼ阻害剤			自社品
〔概要〕 新規結合型選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。各種固形がんの効果を目指しています。			
◎ 甲状腺がん	日本 米欧ア	2014年6月申請 申請準備中	経口剤
肝細胞がん	日米欧中ア PⅢ		経口剤
子宮内膜がん	米欧 PⅡ		経口剤
メラノーマ	米欧 PⅡ		経口剤
グリオーマ	米国 PⅡ		経口剤
非小細胞肺がん（サードライン・単剤）	米欧 PⅡ		経口剤
非小細胞肺がん（RET転座）	日米欧ア PⅡ		経口剤
腎細胞がん	米欧 PⅠ/PⅡ		経口剤

開発品コード：MORAb-003 一般名：ファルレツズマブ

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗葉酸受容体αモノクローナル抗体			自社品
〔概要〕 葉酸受容体α（FRA）に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
プラチナ感受性卵巣がん	日米欧ア PⅢ		注射剤
非小細胞肺がん	米欧 PⅡ		注射剤

◎：2014年4月以降の進捗

開発品コード：MORAb-004

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体		自社品
[概要] Tumor endothelial marker 1 (TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。		
メラノーマ	米欧 P II	注射剤
大腸がん	米欧 P II	注射剤
肉腫	米欧 P II	注射剤

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab

薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体		自社品
[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。		
中皮腫	米欧 P II	注射剤

開発品コード：E7820

薬効／作用機序：抗がん剤／インテグリン α 2発現抑制剤		自社品
[概要] 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン α 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。		
大腸がん	米欧 P II	経口剤

開発品コード：E7016

薬効／作用機序：抗がん剤／ポリADPリボースポリメラーゼ阻害剤		自社品
[概要] ポリADPリボースポリメラーゼ (PARP) はDNA修復に関与する酵素です。PARP阻害剤は腫瘍細胞のDNA修復を阻害することによって抗腫瘍効果をあらわし、DNAに損傷を与える化学療法や放射線療法の効果を増強することを期待しています。		
メラノーマ	米国 P II	経口剤

開発品コード：E7272 一般名：denileukin diftitox 製品名：ONTAK

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤		自社品
[概要] インターロイキン2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。すでに米国でCD25 (IL-2受容体の構成要素) 陽性の皮膚T細胞リンパ腫治療剤として承認を取得しています。		
メラノーマ (効能追加)	米国 P II	注射剤

開発品コード：E7040 製品名：ディーシー ピーズ

薬効／作用機序：血管塞栓用ピース／医療機器		導入品 (Biocompatibles)
[概要] 架橋化ポリビニルアルコール高分子からなる親水性の球状微粒子であり、注入用カテーテルを通じて目標とする血管を選択的に塞栓するための血管塞栓用ピースです。微細で均一な球状の粒子であるため、血管径や腫瘍の大きさ等の対象範囲に合わせた持続的な塞栓効果が期待できます。日本において、肝細胞癌患者に対する肝動脈塞栓療法を使用目的として承認を取得しています。		
多血性腫瘍に対する血管塞栓療法 (効能追加)	日本 P III	2014年度申請予定 血管塞栓材

開発品コード：E7438

抗がん剤 (EZH2阻害剤)	P I / P II	導入品 (Epizyme)	経口剤
----------------	------------	---------------	-----

開発品コード：MORAb-066

抗がん剤 (抗体)	P I	導入品 (Janssen Biotech)	注射剤
-----------	-----	-----------------------	-----

(2) 神経

開発品コード：E2020 一般名：ドネペジル 製品名：アリセプト

薬効／作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤	自社品		
[概要] 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症（AD）の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、すでに世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。			
レビー小体型認知症（効能追加）	日本	申請（2013年10月）	経口剤
高度アルツハイマー型認知症（効能追加）	中国	PⅢ	2014年度申請予定 経口剤
高用量製剤<23mg錠>（用法、剤形追加）	日本	PⅢ	2014年度申請予定 経口剤
ダウン症候群の退行様症状（効能追加）	日本	PⅡ	経口剤
パッチ製剤（剤形追加、E2022）	日本	PⅠ	（帝國製薬との共同開発） 貼付剤

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル 製品名：Fycompa

薬効／作用機序：抗てんかん剤／AMPA受容体拮抗剤	自社品		
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に加え、全般てんかんの適応取得をめざした開発を進めています。部分てんかんの併用療法に対して欧州、米国およびカナダなど、39カ国で承認を取得しています。			
部分てんかん	日中ア	PⅢ	2015年度申請予定 経口剤
全般てんかん（効能追加）	日米欧ア	PⅢ	2014年度申請予定 経口剤
部分てんかん小児適応（効能追加）	米欧	PⅡ	経口剤

・日本の全般てんかんは、部分てんかんと同時に2015年度に申請することを予定しています。

開発品コード：E0302 一般名：メコバラミン

薬効／作用機序：筋萎縮性側索硬化症	自社品		
[概要] メコバラミン（生体内補酵素型ビタミンB ₁₂ ）製剤であり、傷ついた末梢神経を修復する作用があります。すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われており、新たに、筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療剤をめざしています。			
筋萎縮性側索硬化症（ALS）	日本	PⅡ/Ⅲ	2014年度申請予定 注射剤

開発品コード：E2080 一般名：ルフィナミド 製品名：イノベロン／BANZEL

薬効／作用機序：抗てんかん剤	導入品（ノバルティス）		
[概要] 新規構造のトリアゾール誘導体で、過剰電荷を帯びている脳内ナトリウムチャネルの活動を調節します。小児から発症する重篤な難治性てんかんの一つであるレノックス・ガストー症候群の併用療法に係る適応で、日本、欧州、米国で承認を取得しています。ブランド名は、日本、欧州では「イノベロン（Inovelon）」、米国では「BANZEL」です。			
レノックス・ガストー症候群の小児適応（効能追加）	米欧	PⅢ	経口剤

開発品コード：BAN2401

薬効／作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤／ヒト化抗Aβプロトフィブリルモノクローナル抗体	導入品（バイオアークティック ニューロサイエンス）		
[概要] アミロイドベータ（Aβ）プロトフィブリルに対するヒト化IgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているAβプロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。			
アルツハイマー型認知症	米欧	PⅡ	注射剤
	日本	PⅠ	

◎：2014年4月以降の進捗

開発品コード：E2006

薬効／作用機序：不眠症治療剤／オレキシン受容体拮抗剤			自社品
【概要】新規作用機序の睡眠導入剤です。覚醒状態を維持するオレキシン受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発を期待しています。			
不眠症	米国	P II	経口剤

開発品コード：E2609

アルツハイマー型認知症（BACE阻害剤）	P I	自社品	経口剤
----------------------	-----	-----	-----

開発品コード：APD356 一般名：Lorcaserin 製品名：Belvii

肥満症	日本	P I	導入品 (Arena Pharmaceuticals)	経口剤
-----	----	-----	--------------------------------	-----

・糖尿病合併症治療剤「AS-3201」について、米国、欧州で実施していたフェーズⅡ/Ⅲ試験を終了し、今後の開発方針を検討していましたが、開発を中止することを決定いたしました。

(3) 血管・免疫反応

一般名：フレカイニド 製品名：タンボコール

薬効／作用機序：頻脈性不整脈治療剤			自社品
【概要】心筋のナトリウムチャネル遮断作用によって頻脈性不整脈を抑制します。成人における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、心室性）および小児における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性）の適応を有しています。			
小児用細粒製剤（剤形追加）	日本	申請（2014年1月）	経口剤

開発品コード：E5501/AKR-501 一般名：avatrombopag

薬効／作用機序：血小板減少症治療剤／トロンボポエチン受容体作動剤			自社品	
【概要】トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。				
手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症	日米欧ア	P III	2015年度申請予定	経口剤
特発性血小板減少性紫斑病（ITP）	米欧ア	P III		経口剤
C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症	米国	P II		経口剤

・手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症の適応についてグローバル臨床フェーズⅢ試験に日本も加わりました。

開発品コード：E6005

薬効／作用機序：アトピー性皮膚炎治療剤／ホスホジエステラーゼ4阻害剤			自社品
【概要】細胞内情報伝達物質サイクリックAMP の分解酵素であるホスホジエステラーゼ4の働きを阻害します。アトピー性皮膚炎の諸症状を抑える治療薬となることを期待しています。			
アトピー性皮膚炎	日本	P II	外用剤

開発品コード：E6011

自己免疫疾患/炎症性疾患（抗フラクタルカイン抗体）	P I / P II	自社品	注射剤
---------------------------	------------	-----	-----

開発品コード：MORAb-022

抗リウマチ剤（抗体）	P I	自社品	注射剤
------------	-----	-----	-----

◎：2014年4月以降の進捗

(4) 消化器・肝臓

開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール 製品名：パリエット/アシフェックス

薬効/作用機序：プロトンポンプ阻害剤	自社品
【概要】 プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌、ラベプラゾールを含むヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用パック製剤などの承認を取得しています。	
低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制および5mg錠（効能・剤形追加）	日本 申請（2013年11月） 経口剤
PPI抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法（効能追加）	日本 PⅢ 経口剤
機能性ディスペプシア（効能追加）	日本 PⅡ 経口剤

一般名：cinitapride

薬効/作用機序：上部消化管機能改善剤	導入品（Almiral）
【概要】 消化管神経叢に存在する5-HT ₂ および5-HT ₄ 受容体を刺激することによりアセチルコリンの遊離を増大させ、上部消化管運動を改善します。また抗ドーパミン作用も有し、ドーパミン受容体を阻害することによりアセチルコリンの放出抑制を解除し上部消化管機能を改善します。	
機能性ディスペプシア	中国 申請（2011年10月） 経口剤